

令和5年 飯田市教育委員会12月定例会会議録

令和5年12月13日（水） 午後2時30分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	林 綾子
教育委員	野澤 稔弘

【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
学校教育課長	福澤 好晃
学校教育専門幹	今井 栄浩
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長兼考古博物館長	宮下 利彦
市公民館副館長	上沼 昭彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは時間になりました。日程第1、開会。令和5年12月定例会を始めます。よろしくをお願いします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。12月定例会の会期を本日1日といたしますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録署名委員の指名。本日は林 綾子教育委員さんをお願いいたします。

◇教育委員（林 綾子） はい。お願いします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。11月の定例会会議録をご確認ください。

何かご意見があればお願いいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、次へまいります。日程第5、教育長報告事項。

別紙を用意しましたので、ご覧いただければと思います。

11月から伊那谷文化芸術祭が毎週日曜日に行われておりました。いくつか観させていただいたり、教育委員の皆さんもご覧になった方もおられますけれども、全体的には子どもたちの参加するのが昔、コロナ禍の前に比べると少ないなあというのが実感としてありました。最後の会にも清水正則会長さんから「ぜひ学校の参加を」というようなお声かけもありました。改めて今、そういったものが再構築されてきているので、全く前と同じって言うことは非常に難しいかと思うんですけれども、子どもたちのクラブ、あるいは地域の

クラブ、あるいは地域の団体が、皆さんが発表する貴重な場であるということを感じています。そういう中でも鼎中だとか高陵中、浜井場小、追手町小等が参加していて、子どもたちが元気に活躍する姿を見られたことは何より良かったかなというふうに思いました。

2 番目、私立の認定こども園と、毎年1 回、園長さん、あるいは保護者のPTAの会長さんたちとの懇談というのがありまして、ご要望をいただいております。いろんな団体からご要望をいただく時期ではあるんですけども、そこにあるような5 つのお話がありました。子どもたちを取り囲む教育環境の充実ってということになるかなと思います。

そういう中で⑤にある「園小の連携接続カリキュラム」がありましたが、やはり園の皆さんからすると子どもたちを手塩にかけて育てて、その情報がきちんと小学校に伝わってほしいと、そういう願いを感しました。また、小学校の先生方にも伝えてまいりたいなと思っています。

3 つ目は、りんご並木の収穫祭が 70 周年と併せてございました。この時期はふじと国光なんですけど、今年りんご並木の 70 周年に併せて、クラウドファンディングで収穫の体験ができるというメニューがあったので、その方たちが籠を持って参加されていまして。また、当時、並木を植えた昭和 28 年なんですけど、その当時中学生だっていう方がいらっやっていて、ずっと収穫にはそれ以来参加してなかったってということで、今回何年振りかっていうくらいで参加されていまして。当時のお話を伺うと、改めてこのりんご並木の取組のスタートの部分の思い、そういうものが覗えるなと思いました。

あと柔道大会、こちらもほぼ地域クラブ移行化が進んでいるんですけども、課題とすると少子化に伴ってやや参加する子どもたちの数が昔に比べると減っているという、そんな課題があるということをお聞きいたしました。

5 つ目の三遠南信教員交流会は、4 名の方がそれぞれの浜松市・豊橋市に2 名ずつ3 日間、実際に現場へ行って子どもたちの様子、先生方の様子を学んでくるということで、報告会がございましたが、やはり他県の取組を実際に知るということはとても貴重な会だなあというふうに思いましたし、その発表を聞いている私たちも大切な情報をいただいたと感じました。

2 ページ目に入りまして、「伊那谷 d e キャリア教育」が先日の日曜日に豊丘村でありました。「そもそも大人は探究ができているのか」というようなテーマでお話がありました。そういう中でこの飯田下伊那地区で竹に関わる取組をされているNPO 法人「いなだに竹 L i n k s」の曾根原さんと、それから高森中の子どもたち三年生がギネスに挑戦した竹の流しそうめんですかね、その高森町教育委員会の清水さんの事例に学びました。

講師は市川 力さんという探究をずっと求めて実践されている方でありましたが、貴重なお話だったかなというふうに思います。参加された方たちは、今回はテーマがテーマだったので、学校関係が多かったわけですが、来年は上伊那で行われますが、キャリア教育ということになるとさらに産業界の皆さん方にもぜひ参加していただくとよいと思います。そういう産学官が一緒になってこのキャリア教育を上伊那とともに盛り上げていくということは、大事なことだなということを改めて感じたところであります。

最後に、第4回市議会定例会の報告です。ご質問をいただいて答弁したものについてまとめましたが、コロナ禍における行政の対応、子ども子育ての政策について、それから子どもを産み育てやすい環境の充実、特に不登校関係の小中連携・一貫のあり方などでございます。あと文化会館のこととか、安心、安全な学校生活とか、今4ページにっておりますけれども、そして不登校も再び話題になったりしました。

さらに5ページにいきますと文化会館の喫煙の環境のこと、そしてスポーツに関わる施設の芝生等ということとか夜間照明のことについてのご質問をいただいて、答弁をしております。

また、文字が多いわけですが、後で時間があれば目を通していただければと思います。

私からの報告は以上でございます。ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） よろしいでしょうか。また、委員さんの中でも同じイベントに参加されたものがありましたら、ご報告いただければと思います。

日程第6 議案審議（3件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは日程第6、議案審議に移ります。本日は3件ございます。3件の議案についてご審議をいただきます。

議案第62号 令和5年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、議案第62号、「令和5年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは議案第62号、令和5年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について、4ページをお願いします。

認定対象者6人につきましては、別紙でご用意させていただいたとおりでございます。
それぞれ記載いたしました認定要件にて、飯田市就学援助費支給要綱第5条第1項の規定により、飯田市就学援助費の支給対象者として認定をいただきますようご提案を申し上げます。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました、議案第62号についてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご異議なしということで、認定をいただきました。ありがとうございます。

議案第63号 共同学校事務室室員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第63号、「共同学校事務室室員の任命について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 5ページの議案第63号、共同学校事務室室員の任命についてでございます。

年度の途中ではございますが、松尾小学校・川路小学校の事務職員が交代したことに伴い、議案書記載の第二共同学校事務室及び第三共同学校事務室の事務職員のものにつきまして、飯田市小学校及び中学校の共同学校事務室の設置及び運営に関する規則第4条第2項の規定により任命したくご提案するものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました、議案第63号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。ご異議なしということで承認をいただきました。

議案第64号 飯田市教育委員会外国語指導助手の給与等及び勤務条件に関する規則の一部を改正する規則の制定について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第 64 号、「飯田市教育委員会外国語指導助手の給与等及び勤務条件に関する規則の一部を改正する規則の制定について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは 6 ページ、議案第 64 号、飯田市教育委員会外国語指導助手の給与等及び勤務条件に関する規則の一部を改正する規則の制定についてでございます。

こちらは飯田市の会計年度任用職員の人事院勧告に準拠した給与改定が行われるために、飯田市議会第 4 回定例会、現在開会中でございますが、こちらに関係条例の改正案が上程されておりまして、給与単価が増額される予定でございます。外国語指導助手の報酬単価はその条例の改正には含まれておりませんので、こちらの規則で定められております。他の会計年度任用職員の給与等の均衡を保つため、単価の改定を行いたいというものでございます。

7 ページには、新旧対照表を付してございますが、規則第 5 条第 2 項にあります第 1 号から第 5 号中のそれぞれの金額を改めたいというものでございます。

なお、この規則は、公布の日から施行し、令和 5 年 10 月 1 日から適用をしたいというものでございます。

説明は以上です。よろしくお願ひいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました、議案第 64 号についてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

野澤委員。

◇教育委員（野澤稔弘） こちらは、1 号・2 号・3 号のように、1 年ごとにこの金額が上がっていくようなイメージなんですね。あと、日給月給なんですか、これは。

○教育長（熊谷邦千加） 福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） こちらおっしゃられるとおり、1 年ごと金額が上がっていくものでございまして、原則は月額での金額の支給になります。

◇教育委員（野澤稔弘） 月額方式。

◎学校教育課長（福澤好晃） 月額の報酬の改定をしたいというものでございます。

◇教育委員（野澤稔弘） 分かりました。

○教育長（熊谷邦千加） さらに続いていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） それでは承認いただくということでよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。承認をいただきました。

それでは議案審議は以上でございます。

日程第7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） 日程第7、「協議事項」。本日は予定がございません。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第8、「陳情審議」。これも本日はございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 日程第9、「その他」。

（1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「教育委員報告事項」。

教育委員の皆さん方から報告事項がございましたら、挙手いただいでご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） はい、お願いいたします。

伊那谷文化芸術祭11月12日の日に出席させていただきました。合唱の部ということで、合唱を観させていただいています。感想としては3点です。

1つには、演者の方と観客の年齢の幅広さというものをとても感じさせられました。「平均年齢もうすぐ80歳代です」というグループの方たちの力強い歌声もお聞きしましたし、また、「結成51年目です」という50代から80代のグループもありましたし、園児さんたちのグループもあったりしまして、それで様々なグループの合唱をお聞きし、参加している方々の年齢の幅広さを感じました。また、観客の人たちの年齢も幅広く、年配の方々が小さい子どもたちの歌声に、足でリズムを取るようなところが見られたり、また、80代の方たちのグループの歌声に目を閉じて歌を聞く若い方々の姿も目にしまして、舞台に立つ演者、観客の幅広い年代の交流を感じました。

2つ目は、先ほども「子どもたちの参加をもうちょっと」という話がありましたけれど

も、やはり子どもたちの歌声、歌う姿の力というものをとても感じました。

園児さんたちのグループもありまして、風越こども未来園さんの園児さんたち、年中・年長 60 人くらいということで歌声を聞かせてもらいました。子どもたちの可愛く無邪気に歌うその歌声と姿というものは、誰しもの心が洗われるようなそんな気がしましたし、誰もが手拍子をしたり、体でリズムを取ったりというようなところで、会場全体が素敵な空気に包まれて力もらったと、そんなところをとても感じました。

羽場小学校の合唱団の透き通るような歌声を園児たちが「いい子で聞いていたな」というのも印象に残っています。

最後 3 つ目ですけれども、全体を通しまして、地域の人たちのパワーというものをこの伊那谷文化芸術祭で感じています。さすがに地育力という造語のある市だなんていうようなところを、短時間合唱に耳を傾けさせていただきただけでもそう感じる、いい時間をいただきました。

もう 1 つ、地域のパワーと言えば、この日の朝ちょうど自分が地域の道造りに出て、そこで一緒だった近所の方たちが 12 時にはもうステージ上に立って歌われていました。近所のおじさんやおばさんたち、普段車椅子に乗っている近所のおばさんもステージに立って生き生きと歌を歌う姿を見て、なんていうんでしょうか、「負けちゃいけない」っていうそんなパワーも感じてまいりました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

北澤職務代理。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 大きくは 3 点です。手短に申し上げます。

1 点、今、三浦委員からありましたように、伊那谷文化芸術祭、同じように 12 日に参加をさせていただきました。全く感想が一緒ですけれども、園児から 80 歳代後半と見受けられる方々までがみんなステージに立ってそれぞれの表現をされている。表現をする場に立つことは、80 歳を過ぎてもあんなに生き生きとなおかつ声も通るし姿勢もいいし、そういう面から言ってもとっても大事なことなのだなと実感しました。だからこの芸術祭、今後もぜひ続いてほしいなと思いました。

それから 2 点目は、11 月 14 日に長野市の教育センターで、市町村教育委員会連絡協議会の県の代議員会があって出席しました。そこでフリースクールの認証制度について、県の次世代サポート課長の塩原さんから説明がありました。気になっていた点がいくつかあったので質問・要望を申し上げました。「県内でこの認証制度で対象となりそうなフリースク

ールっていうのはいくつぐらいありますか」という質問に対しては「50 施設ぐらいある」というお答えでした。「1つの施設に対して、どの程度の補助を見込んでいるのか」という質問に対しては「100 万から 300 万円ぐらい」というお答えでした。「どれぐらいの期間これをする予定でいるか」と聞いたところでは、「国の制度ができれば県はやめる」という答で、いずれにしても「3年から5年程度は続けるつもりでいる」と。「3年から5年をめどに、その時点で認証も見直していく」というようなお答えでした。

そこで要望したことは、平成 20 年頃に長野県で不登校が増加したときに、県として「民間の中間教室へ補助金を出す」という事業が始まりました。ところが、始まって軌道に乗り出したら、県は3年でその事業を打ち切ってしまったということがありました。その結果、何が残ったかという、民間の施設と学校とそれから市町村の教育委員会の間で関係がギクシャクして、補助金をそのまま続ける市町村もあれば、そこで「県が切ったから」といって打ち切ってしまう、そういうところもあって、非常にギクシャクしてしまうという状況がその時に起こりました。

「今回またこういうことを始めたら『3年程度で打ち切りです』ということにならないようにしてもらいたい」という要望を申し上げました。県の答えは、「3年から5年程度で見直しをかけながら、そこの運営スタッフの様子ですとか、施設の状況等を虐待等が起こらないように見直し、フィルターをかけて進めていきたい」と。「フリースクールの運営費の補助は県がするので、個々の利用者についての利用の補助とか支援は、市町村教育委員会が対応してほしい」という答えがありました。

それから11月21日に、県の学校給食会の評議員会に出席しました。こちらは学校給食の値上げに関わってくる部分のことで、いくつか質問もさせてもらってきました。物価が値上がりしていることは周知のことで、学校給食会とすると安いときにまとめ買いをして、極力安価で調理場に渡す努力をしているが、「提供している資材についての値上げはどうしても避けられない状況がある」という。ただ、「今後は為替の動きとか円安がどうなるかといったことで、どれぐらいの幅になるかが決まってくるというような話と、もう1つは、飯田市では聞いていないですけど、郡外では米飯とかパンとか麺を作っている委託業者が高齢化していて、「もうこれ以上は続けられない」と言うことでお断りになる業者さんとか、長野市では大規模に受け入れてくださっている業者さんで倒産というようなこともあって、2万食近くを受けてくれていたようですけれど、それをほかの業者さんに割り振りするのに非常に苦労されたというような話もありました。この飯田市でそういう業者さんが何とか続けてくださっていることは、子どもたちの期待や保護者の助けにもなる学校給

食を続け行くうえで有難いだと思いました。

あとは余談ですけど、子どもたちに人気のあるソフト麺、たぶん市内でも提供がなくなっているかと思うのですが、さっき言ったような高齢化等の厳しい状況で、「全国でもソフト麺の提供ができている県は17県のみだ」という、そんな話もありました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

さらに報告事項がございましたら、よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） よろしいですね。

（2）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、（2）「教育次長報告事項」。

秦野教育次長。

◎教育次長（秦野高彦） ありません。

（3）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（3）「学校教育課関係報告事項」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは、学校教育課関係2件ございます。

まず、アとして、飯田市これからの学校のあり方審議会についてでございます。

こちらは第4回のあり方審議会を先般11月22日に行いましたので、その内容についてご報告申し上げます。資料は8ページからでございます。

内容といたしましては、8ページの4の（1）（2）でございますが、第3回までの審議会の振り返り、それから飯田市立小中学校の今後のあり方に関する方針、たたき台についてお伝えをし、意見交換が行われました。

9ページ目からがそのときに配られました資料になりますが、こちら具体的に22ページ目からになりますが、たたき台をお示しする中で、第4回審議会でも出されました意見を中心に本日はご報告を申し上げます。

全体といたしましては、このたたき台 23 ページ目からになりますが、説明をさせていただいたところ、全体としては小中一貫した教育を進めていくという方向性については「この学園構想自体は良いのではないか」というところでもございましたが、「中身の部分で説明が不足している点がある」というご意見や、「もう少し今までのことを総括し、補強が必要ではないか」というご意見をお送りいただきました。

その中の主なものをご紹介しますと、小中連携・一貫教育の成果について、「現在、不登校児童生徒が増加傾向になっていることや、直近の全国学力学習状況調査の結果を踏まえたときに、そういったことはどのように捉えているのか」。それから、「小中連携した教育を進める中で、先取り学習の可能性や習熟度別の学習ができる、そういった可能性もあるのではないか」というご意見。また、「今まで取り組んできた小中連携・一貫教育や飯田コミュニティスクール、飯田型キャリア教育について評価をきちんとした上で、良い点と欠けている点を明らかにし、この構想によって今後どういったところが飯田らしく伸ばせていけるのか」であったり、「課題がどう解決されるのかといった整理が必要ではないか」というご意見が出されました。

また、「小中一貫教育に幼稚園・保育園も加えた考え方を持つべきではないか」というご意見。「リニア時代に向けた施設整備の観点の必要性」に関するご意見や「地域の実態を見たときにこの構想だけでなく、小さな地域のことも考えた内容が必要ではないか」というご意見。

施設形態の部分、具体的には 26 ページ目に「新たな学校形態」という資料がございますが、その施設形態の部分で、「より柔軟性を持たせたことが必要ではないか」というようなご意見もございました。このようなご意見も踏まえまして、さらに議論を深めていただるように、第 5 回の審議会に向けて資料などを整えてまいりたいと考えております。

続いて、伊の大谷翔平選手によるグローブの寄附についてでございます。

こちら 29 ページ目から 31 ページ目までになりますが、教育委員の皆様方も既に報道などでご存じのことと思いますが、大谷翔平選手が全国の小学校へグローブを寄附するという事で、スポーツ庁から先日、通知調査がございまして、当市も全ての小学校で希望する旨の回答をしております。今のところ、おおむね来年 2 月頃に届く予定でございますので、2 月の校長会もしくはそれ以降の教頭会等で各校 3 個になりますが、配布できるよう準備を進めておりますので、ご報告を申し上げます。

私からは以上になります。

(4) 生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続いて、(4)「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 生涯学習・スポーツ課から2件お願いをいたします。

初めに、社会体育施設の夜間照明の整備についてということで、資料の32ページをお願いいたします。

今年度の飯田市の教育委員会施設等総合管理計画に位置付けた天龍峡テニスコートや、また、千代の運動場については、千代にあります最終処分場の延命に伴う協定事項というようなことで、今年度2つの施設の夜間照明の整備を進めております。

天龍峡テニスコートにつきましては、かねてからスポーツ協会からもご要望をいただいております。市内6施設ありますけれども、天龍峡が唯一人工芝のコートであるということと、利用率からして、一番照明を整備する効果が上がるだろうということで整備しております。

下の表の中にございますけれども、このテニスコートについては、年末年始のみのお休みということで1年使える施設でございます。

下にあります開場時間でございますけれども、これまでは午後5時までということで、5月から8月の日の長い時期については午後7時までということで条例に規定されておりますが、今回の照明整備に併せまして午後8時30分まで使えるということで、第4回の定例会にも議案の提案をさせていただいているものでございます。

通常でありますと照明がついた施設9時半までということになりますけれども、そういった施設が多いわけですが、天龍峡テニスコートについては、すぐお隣に民家が複数ございまして、そういった皆さんとの協議、また、スポーツ協会に加盟するテニス協会の皆さんと協議をして決めた時間となっております。

使用料につきましては、今回新たに照明を使用する場合の使用料を規定していくということで、飯田市におきましては、南信濃のテニスコートが既に照明が付いておりますのでその料金と同じ料金を設定していきたいというものであります。

千代の運動場につきましては、横に千代自治振興センター・公民館等もございまして、そのほかにも保育園や診療所等があるということで、千代の中心的位置にある運動場ということから、今回LED照明を設置しております。

千代については、千代小学校と千栄小学校にそれぞれグラウンド校庭に夜間照明が設置化されておりますけれども、全てが水銀灯ということで、既に水銀灯の製造は中止されて

おりますので、将来的にはこの千代の運動場も地元の皆さん含めた中心の施設として使っていきたいという考え方でございます。

記載のとおり、既に桐林や山本等照明がついているグラウンドがございますので、料金についてはそういったところと同様の料金設定をしていくということで、こちらについても今回の定例会に議案を提出させていただいております。

33 ページが天龍峡テニスコートのイメージでございますが、6面ありますので、全てで照明を設置して使える、そんな整備をしていくこととなります。

おめくりいただいた 34 ページは、千代の運動場でございますけれども、右側に千代の公民館と振興センターがございます、そのお隣の場所ということでございます。

もう 1 点、飯田市のキャリア教育推進フォーラムについてお願いをいたします。

別冊でお配りをさせていただいております。年明けの 2 月 10 日に飯田市キャリア教育推進フォーラムを鼎文化センターで開催をしたいということで計画をしております。幼児期から高等教育期まで系統的なキャリア教育ということで、それぞれの発達段階に応じた実践発表と、あとはパネルディスカッションにおいては、「若い皆さんと一緒にこの地域の未来を考えよう」ということで計画をしております。

裏面をご覧くださいと思いますけれども、保育園については三穂の保育園から龍江小学校、中学校については竜東中、高校については飯田女子高等学校、高等教育については飯田コアカレッジということと、あとは 1 年間ジュニアリーダー育成講座の生徒の皆さんを中心に、会の進行も含めてお願いをしながら進めていく予定でございます。

第 2 部のパネルディスカッションは、そこに参加いただく若い皆さんを記載しておりますが、この機会に、それぞれの発達段階に応じてどんな取組がされているかということと皆さんと共有しながら、キャリア教育の大切さを確認する機会にしていきたいというふうに考えております。

あと、教育委員の皆様には、キャリア教育推進フォーラムのご案内ということで、出欠の確認の資料も付けさせていただいております。本日この後、提出していただいても結構でございますし、先ほどのこの表紙のフォーラムの案内の中段ぐらいの右に二次元コードがございます。こちらから申込みもできますので、ぜひ教育委員の皆さんはご都合をつけて、ご参加いただければと思います。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

(5) 文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（5）「文化財保護活用課関係報告事項」。

◎文化財保護活用課長兼考古博物館長（宮下利彦） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(6) 公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（6）「公民館関係報告事項」。

上沼副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） それでは令和5年度飯田市「二十歳の集い」の開催につきまして報告をさせていただきたいと思ひます。

資料35ページをご覧ください。

令和5年度飯田市「二十歳の集い」を令和6年1月7日、日曜日、成人の日の前の日曜日に開催をいたします。

「二十歳の集い」は、二十歳の成人にとって身近な居住地区・出身地区を基本単位に、全市一斉に開催をいたします。各地区で実行委員会を組織し、地域を上げて二十歳の成人の成長を祝福するとともに、二十歳の成人自らが「二十歳の集い」の企画・運営にかかることで、一生の思い出に残るような企画となるよう取り組んでまいります。

また、「二十歳の集い」を二十歳の成人が実行委員会の活動を通じて、改めて生まれ育った地域・ふるさとを認識し、地域との関わりを持つ学習活動として位置付けております。各実行委員会における地域の特色を生かした学習活動を通じて、二十歳の成人の皆さんが地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方、また自身と地域の関係などについて見つめる機会になるよう取り組んでおります。

なお、本年度の「二十歳の集い」の対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までの間に生まれた方で、市内の小中学校いずれかを卒業された方、また現在市内に在住の方が対象となり、今年度は1,140名の方が該当となります。

主催は、飯田市及び各地区「二十歳の集い」の実行委員会となります。

各地区の開会時間、式典の会場、該当者数はご覧のとおりでございます。

以上となります。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(7) 文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（7）「文化会館関係報告事項」。

下井館長。

◎文化会館館長（下井善彦） お手元にチラシをお配りしました。少し青いチラシですが、「飯田フォークフェスタ」というものでございます。期日としては来年、年を明けての3月3日ということでございます。コロナで何回か、2回ぐらいだと思いますけれども、中止になったものをそのままうまくタイミングが合いましたので、実施できるということになりましたので、ぜひ足を運んでいただければと思います。

以上であります。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（8）図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （8）「図書館関係報告事項」。

◎中央図書館長（瀧本明子） 図書館からはございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（9）「美術博物館関係報告事項」。

牧内副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 配布しましたピンク色の1・2月号の「びはくにゅーす」をご覧ください。

表紙は1月と2月に予定しております考古博物館、秀水美人画美術館の展示公開事業と美術博物館で1月と2月に開催します自然講座につきまして、それぞれ掲載しております。

左下に記載されております今年度の藤本四人記念小中高校生写真賞ですが、応募期限の11月23日までに89件の応募がございまして、明日12月14日に審査会を行いまして、記載のとおり1月21日にムトスぷらざで表彰式を行う予定でございます。

応募作品につきましては、現在、美術博物館が工事休館のため、例年とは展示期間、展示場所を変更しまして、記載のとおりムトスぷらざ、協賛いただいております飯田信用金庫本店ロビー、美術博物館のロビーの3か所で展示をする予定でございます。

裏面にまいります、2月4日ムトスぷらざの2階の多目的ホールにおきまして、「びはく学芸祭」としまして、本年度6月に田中芳男の資料1,506展を寄贈されましたことを記念しまして、「博物館の父・田中芳男」をテーマに、人文・美術・自然の3分野、4人の学芸

員と専門研究員による講演を行う予定でございます。

そのほかは、市民ギャラリーの抽選会及び美術博物館協議会の公募の関係も記載をしておりますので、またお時間があるときにご覧いただきたいと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、(10)「歴史研究所関係報告事項」。

牧内副所長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは「歴研ニュース」12月1日発行の127号をご覧ください。

今回の「歴研ニュース」ですけれども、今年の12月2日で飯田市歴史研究所が設立してから20周年を迎えますので、特別号としまして通常4ページの部分を8ページに増加しております。表紙は挨拶として20年間の歩みと今後に向けた思いを掲載しておりまして、開きまして2ページから5ページまでにつきましては、設立して20周年となるのを契機にしまして、改めて「市民の皆さんに歴史研究所がどんな事業を行っている社会教育機関であるのか」理解いただこうと考えまして、調査・研究事業、教育普及事業、市史編纂事業という3つの事業に分けまして、その具体的な取組について伝わるよう写真を使い簡単な説明ですが紹介をさせていただいております。

6ページと7ページにつきましては、「歴史研究所の歩み」としまして、設立前の準備期間を含め、これまでに行った講座の行事や書籍の刊行、さらには研究活動や刊行しました書籍について表彰をいただいた事例など、20年間の主だった出来事について紹介をしております。

最終ページにつきましては、歴史研究所の案内地図とそれ以外につきましては、20周年のワークショップを2月17日に予定しておりますので、概要とあとは通常号でも掲載しております、定例研究会や歴史研究所のゼミナールの開催日程について掲載をしております。時間があるときにまたお目通しいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ただいまの報告事項、いくつもございましたが、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

林教育委員さん。

◇教育委員（林 綾子） 2点なんですけれども、まず1点目が、これからの学校のあり方審議会についてのご報告をいただきました。ありがとうございました。

全くの一般的な感想みたいな形なんですけれども、丁寧に進めていただいているという状況をお聞きしまして安心しております。

ただ、今後、また新しい動きがあったときに、不安を感じるお子さんとか保護者さんとかいらっしゃる場合があるかなというふうに思いますので、また新しい動きがあったときに分かりやすく、また前向きにというか「楽しみだな」という形で捉えられるような中身の、内容・説明等があるとありがたいなと思いました。

それともう1点ですけれども、この大谷翔平選手のグローブのことですけれども、これの使い方というのは各学校でお任せされているということでもよろしかったでしょうか。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） まず林委員さんから2点ご意見いただきまして、まず1点目の学校のあり方についてでございますが、本日、各公民館の館長さんたちが集まられておりますので、そこへも同様の報告をしております。

どうしてもああいう話題というか案件になりますと、新聞を通じて皆さん読まれるんですが、どうしても記者の皆さんの書き方によってきちんと伝わる部分とそうでない部分がある可能性がございますので、きちんとその辺りは分かりやすく、1月にはまちづくりの皆さん、あるいは年度末に向けて学校運営協議会等もございますので、そういった様々なところへはきちんとした情報提供を行ってまいりたいと考えております。

それからもう1点、グローブの関係です。教育委員会事務局でも話題にはなっております、まだ具体的な教育委員会としての方針というのは特にありませんが、ただ「どこかに飾られて、置かれて」というだけではない、たぶん大谷選手の思いですとかそういったものもあると考えられますので、その辺りは校長会、あるいは教頭会で、それぞれの学校で「あそこはこうしてるけど、ここはこうだよ」というようなところも話題として取り上げながら、選手の意図や趣旨というものがきちんと伝わって、多くの子どもたちが触られるような環境をつくれていくことが望ましいなと考えております。

以上です。

◇教育委員（林 綾子） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） 林委員さんからグローブの使い方でご意見あれば。

◇教育委員（林 綾子） すぐには思いつかないのですが、各学校でどういうふうにするのかな

と思ひまして。

○教育長（熊谷邦千加） グローブの件はよろしいですか。

野澤委員さん。

◇教育委員（野澤稔弘） 9つの学園構想があるので、この学園でチームつくって野球大会でもやったらどうですか。

◎学校教育課長（福澤好晃） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

◇教育委員（林 綾子） 各学校3つしかないそうなので、どう使うのがいいか皆さん迷われるだろうなとは思いました。

◇教育委員（野澤稔弘） 各学校3つなんですか。

◇教育委員（林 綾子） はい。

○教育長（熊谷邦千加） 各学校で規模関係なく。

◇教育委員（野澤稔弘） この学園構想でやれば9つは揃うんですよ。3つずつ。

○教育長（熊谷邦千加） では、その件はよろしいですか。

そのほか、教育委員さんでご質問、ご意見ありましたらお願いします。

野澤委員さん。

◇教育委員（野澤稔弘） どうしても「二十歳の集い」なんですね。

今、政治参加は18歳になっているかと思うんですけど、そういうものの括りとこれとはどういう位置付けになっているのでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加） 上沼副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） 民法の改正によりまして、令和4年4月1日から、成人年齢が20歳から18歳に引き下げをされております。これに伴いまして成人式のあり方については各自治体の判断ということになっておったんですが、飯田市公民館では、新成人ですとか、保護者、また実行委員会とかに意見を伺いまして、館長会・主事会で検討をした結果、高校卒業と進学、また働き始めてすぐに成人式をやるのはいかがなものかということで、二十歳を迎える年齢のときに成人ではないので名称を「二十歳の集い」という形に変更させていただいております。

○教育長（熊谷邦千加） 秦野次長。

◎教育次長（秦野高彦） 今、野澤委員のご質問に対して、少し回答が足りないという感じがしますので、私からさせていただきますけども、18歳成人で政治に参加できるという形になっています。それも当時、検討を重ねておるんですけども、例えば高校に対して政治教

育ですとか、成人に当たって 18 歳成人っていう部分について、法律としてどういうふうになっているのかというようなことは、別の部署でありますけども、働きかけをするという、そういう二段構えで、1つは 18 歳時で成人になったっていう部分。法律的に親権者がいなくなるというか、一人の大人という形でのお話は、ここを通してお話をする機会を設けようと。そういうことを市役所の別部署で行っているということもありますし、あとは全ての高校というわけではありませんけども、長姫高校で行ってる地域人教育の場所で、三年生になると 4 月 2 日以降どんどん成人になってくるわけですけども、そういう成人になって社会でどういう体験活動をするかっていう、そんなようなことも検討をして、大人としてどう行動するのかということも踏まえながら働きかけを行っている。そういう形をとっております。

○教育長（熊谷邦千加） 野澤委員さんお願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 私はなぜこれにこだわっているのか、いくつか話をさせていただきたいんですけど、まず中卒で働く子もいますよね。結婚は 18 歳になればできる、飲酒やたばこは 20 歳のままとうことで、ある意味、いろんなところで「いや、なんとなく大人だよ」って言っている年齢がまちまちになっている。わざわざ二十歳になったら「俺は大人になった」って言って、我々の税金を使ってとっては失礼ですけども、お祝いをしなきゃならない。各家庭でやればいいじゃないかというのが自分の感覚なんですよね。

「そのお金をもっといいところに使いましょうよ」という言い方も実はしたくて、だったら七五三もお祝いしてあげなきゃいけないんじゃないのっていう感覚は非常にあつたりするんですけど、なんか矛盾だらけのところに、とりあえずこれをやっているように感じてしまうんですね。

飯田市の中では、自分たちで企画をして自分たちで運営していくようにしていくことでやっぱり冠としてあるのであれば、もう間違いなく公民館長さんが苦勞しないように、「君らはもう大人なんだから、全部自分でやりなさい」というぐらいの厳しさを持って運営してもらわないと、大変なところだけ公民館長さんがやるような、そんなふうにならないようにだけはしていただきたいなと思うんですよね。せっかくやるのであれば、きちんとしてやってもらいたい。

ですけど、そういう矛盾点の中でこういうことをやっているんだっていうのを、彼らにきちんと教えなきゃいけないと思うんですよね。「ただ単にお祝いムードでやるようなものではない」と。「君らは大人なんだから」ということは、私は報道とか見ていると、ただ単にワーッと騒いでいるのばかり見ちゃうので、見るたびに腹が立ってくるんですよ。

それが本当に忸怩たる思いをしている状況で、飯田市民の二十歳の人だけには、そういう人にはなってほしくないと思います。よろしくお願いします。

○教育長（熊谷邦千加） 上沼副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） 貴重なご意見をありがとうございます。

公民館としましては、「二十歳の集い」を地域の担い手を育てていく大切な機会というふうに捉えております。今、各地区で新成人を集めて実行委員会を立ち上げて地域学習などに取り組んでいるところであります。

今の主に行っている活動なんですけれども、やはり集まってきた新成人たちにやっぱり「地域の活動に参加してみないか」と働きかけなどしながら、自分たち地域を見つめ直す機会としております。

先ほどのキャリア教育推進フォーラムの資料を配られたんですが、実は今年のパネルディスカッションに「二十歳の集い」の実行委員の中から1名代表で登壇いただきます。この方は龍江の実行委員会の委員の方なんですが、実は龍江の実行委員の皆さんは、龍江のわくわくスポーツ大会、いわゆる地区の公民館の運動会に近い大会に参加をしたんです。

「僕たちが子どもの頃はワクワクスポーツ大会ではなくて、地区の運動会としてやってあった。それが子どもたちにとって非常に印象深かった。なのに、なんで今わくわくスポーツ大会になっちゃったんだろう」というところで、少し課題意識を持ちまして、今の体育委員長さん、委員の皆さんと少し意見交換されたんですが、そういったわくわくスポーツ大会に至った経緯を知る中で「やっぱり僕たちとしては地区運動会を復活させてほしい」と。そういったときに、「じゃあ、我々はどうなったらできるんだろう」ということをやっぱり一緒に考えていく。そんな学習も取り組んでおります。

ぜひ、そういった新成人の主体性・課題意識を実践につなげていけるようなそんな学習活動に取り組みたいと考えております。

ありがとうございます。

◇教育委員（野澤稔弘） ありがとうございます。

ぜひ、お金をかけた衣装を着て、大っぴらに酒飲めて、タバコは吸える年になったってような、そんな式にならないようにしていただきたいなと思います。

よろしくお願いします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

関わってございますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長(熊谷邦千加) では、そのほかご質問、ご意見ありましたら。
よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長(熊谷邦千加) はい、ありがとうございました。

(11) 今後の日程について

○教育長(熊谷邦千加) それでは(11)今後の日程について。

櫻井学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長(櫻井英人) それでは次第の3ページをお願いいたします。(11)
今後の日程でございます。

明後日15日の飯田市教頭会は、職務代理の出席をお願いいたします。来月の定例会は1
月19日、3時からこの場所で開催いたします。

そのあとは2月の予定になります。少し先ではございますが、2月はいくつも会議があ
り、全て委員全員の皆様の出席をお願いする会議等になります。連日になるものもありま
すけれども、今のうちからご予定をいただければと思います。よろしくをお願いいたします。

○教育長(熊谷邦千加) 何かこの予定についてご質問ございますか。

(発言する者なし)

○教育長(熊谷邦千加) 本日予定された議案等はこれで全てとなりますけれども、そのほかにつ
いてご発言等ございましたら。よろしいでしょうか

(発言する者なし)

○教育長(熊谷邦千加) はい。

日程第10 閉会

○教育長(熊谷邦千加) それでは日程第10。以上をもちまして12月定例会を終了とします。あ
りがございました。

閉 会 午後3時30分